

種名	ウグイス <u>Cettia diphone</u>												
													
分類	スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科												
特徴	ホーホケキョと鳴き、春を告げるやぶの小鳥。このさえずりは、法、法華經と聞 きなされる。ウスリー、中国などの一帯と日本全国に分布し、広く繁殖する。日本 では積雪の多い地方のものは、冬期、低地や暖地に移動する。鳥島の亜種トリ シマウグイスは特殊鳥類。												
生活	低地から山地までいろいろな食性の所に広く分布するが、繁殖期に棲息環境 の条件は林の下生えにササが密生していることである。ササやぶでさえあれば 木が全くない所にも棲息する。日本では自然林が切り払われるとその後ササ原 になることが多く、ウグイスの声だけが際だつ。やぶの中を枝移りしながら活発 に移動し、葉にとまる昆虫などを捕まえる。越冬期には市街地の生け垣などにも 現れ、木の実も食べる。												
声	繁殖期には「ヒーホケキョ」「ホーホケキョ」など鳴き始めに高低のある声でさ えずる。また、谷渡りと呼ばれる。「ケキョケキョ」と長く続く声も出す。これは警戒 の意味があるように思われる。どちらの声も個体によって、また地方によって少 しずつ音色が違うという。地鳴きは笹鳴きと呼ばれる「チャッチャッチャツ」という 声である。												
見分け方	ムシクイ類に比べると、体がやや大きく尾が長めである。ヨシキリ類と違い、水 平にとまる。												
時期：寒地 ：暖地	(月)	—	—	3	4	5	6	7	8	9	—	—	—
	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長 (L) ♂16cm ♀13cm 翼開長 (W) ♂21cm ♀17cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													